



災害に備える

このマニュアルは、大規模地震等の災害が発生した場合の対応として、皆さんが日頃注意することと、災害時にどのような行動を取ればよいかをまとめたものです。

宮城県古川工業高等学校 全日制

① 災害時の行動の流れ

② 日頃の注意事項

③ 緊急地震速報を受信したら

④ 大規模地震が発生したら

⑤ 揺れが収まった後の対応

⑥ 避難所マップ（校内）

⑦ 家族への連絡方法

⑧ 帰宅の判断

⑨ 学校に安否報告・連絡

⑩ 本人情報

③ 緊急地震速報を受信したら

- 窓や棚、ガラスなど割れたり中ものが飛び出しそうなものから離れる。
- ドアを開け、出入口を確保する。
- 「上から落ちてこない、横から倒れてこない」安全な場所に身を寄せる。
- 火を使用していた場合にはすばやく火を消す。

④ 大規模地震が発生したら

【自身の安全を守ることを第一に考える】

- あわてて戸外に飛び出さない。
- 屋内では、窓や棚、ガラスなど割れたり中ものが飛び出しそうなものから離れ、「上から落ちてこない、横から倒れてこない」安全な場所に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見る。
- 屋外では、建物から離れ、落下物や倒壊物の危険のない安全な場所にしゃがんで揺れが収まるまで様子を見る。

② 日頃の注意事項

- 避難経路や避難場所を確認する。（学校及び自宅）
- 消火器、屋内消火栓の設置場所や使用方法を確認する。
- 避難経路や火気設備器具周辺に荷物を置かない。
- 災害時の家族や学校との連絡方法を決めておく。
- 防災訓練は、真剣に取り組む。
- 帰宅ルート、通学路の中間点及び所要時間を確認し災害に遭った場合に備える。



学校への連絡

0229-22-3166

⑤ 揺れが収まった後の対応

- 余震が発生することもあるので、引き続き建物や器物の崩落、倒壊に気をつける。
- 火を使用していた場合には火を消す。（ガスの元栓を閉じ、電気器具のスイッチを切る）
- なるべく一人では行動せず、複数で行動する。
- 余震が収まり、安全に移動することができる場合、授業担当教員や教職員の誘導に従い、避難場所（学校においては⑥のマップ参照）に避難する。
- 避難場所にいる教職員に自分が避難したことを伝える。

◆ 移動・避難するときの注意

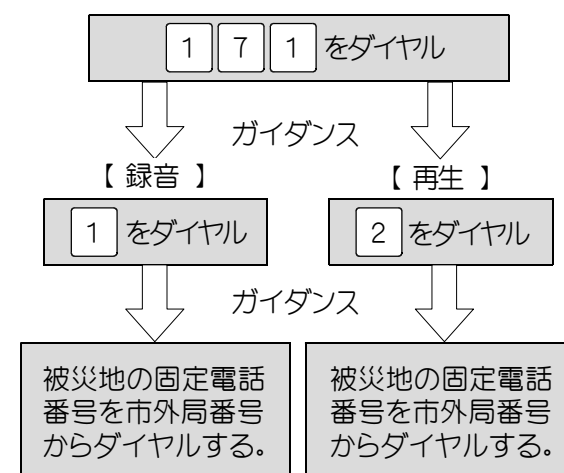
- ・ハンカチ、タオル、衣服の袖等で口を漙い、煙やほこりを吸わないようにする。
- ・手荷物や衣類で頭部を保護する。
- ・エレベーターは使用せず、階段を使用する。

⑦ 家族への連絡方法

災害時の連絡方法について、家族と相談しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル 171

災害用伝言ダイヤルは災害時のみ使用できます。（毎月1日、15日に体験利用できます。）



ガイダンスに従って録音(再生)します。

web171(災害用伝言板)

伝言情報(テキスト・音声)の登録・閲覧が出来ます。

<https://www.web171.jp>

携帯電話各社でも災害発生時は「災害用伝言板」等のサイトが利用できます。利用方法を確認しておきましょう。



web171へのQRコード

⑩ 本人情報

氏名 _____

住所 _____

電話番号 _____

生年月日 平成 年 月 日

血液型 _____ 型()

持病・アレルギー _____

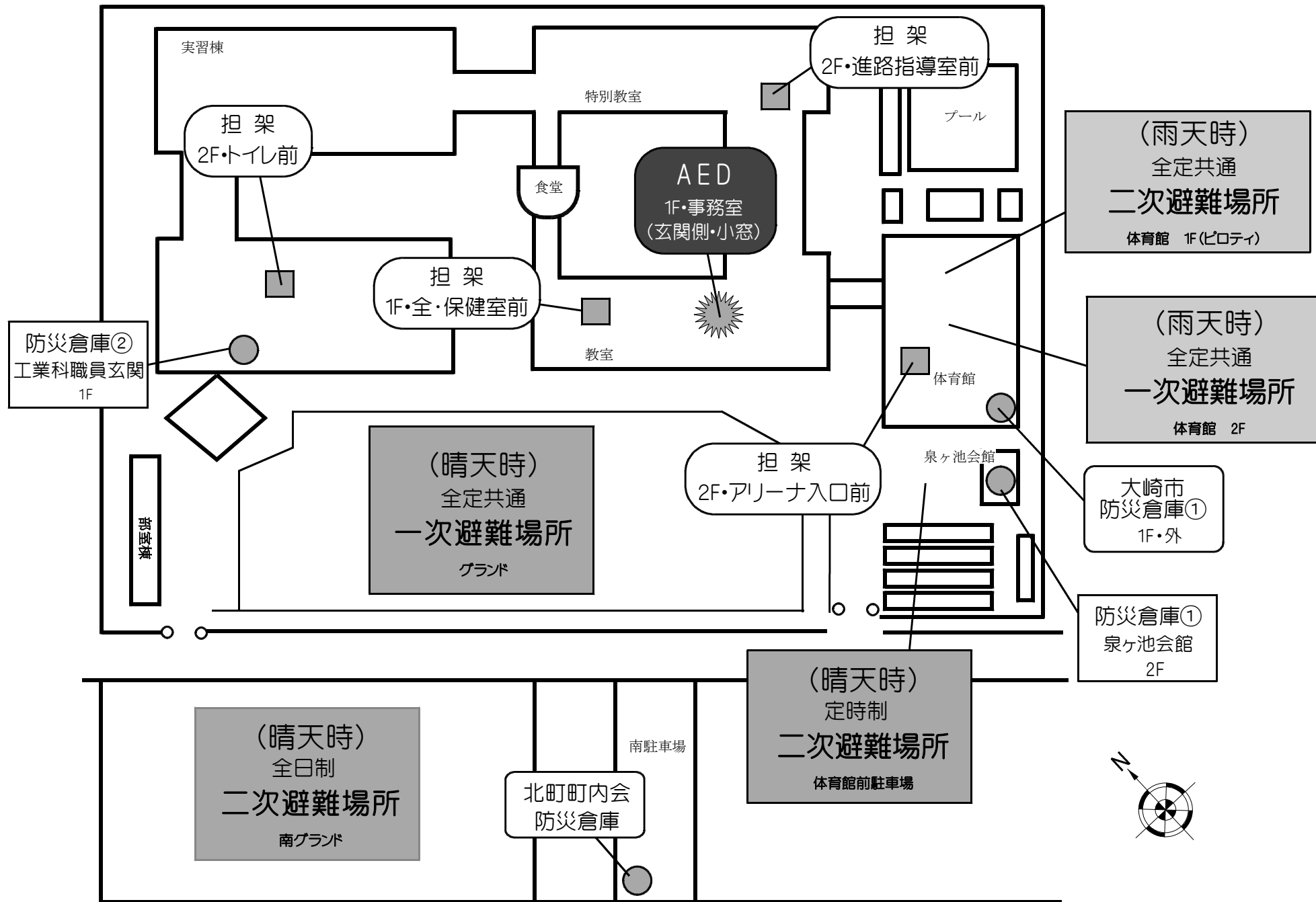
服用薬 _____

自宅以外の緊急連絡先

保護者名・続柄 _____

電話番号 _____

⑥ 避難所マップ (校内)



⑧ 帰宅の判断

- 災害対策本部の指示があるまでは、学校の避難場所で待機して下さい。
- 余震等が収まり、状況が安定した後に、交通機関の運行状況、停電の有無、その他周辺地域に関する災害情報について、テレビ、ラジオ、信頼できるニュースサイト等で正確な情報を得てから、災害対策本部でその後の判断を行います。
- 大規模災害時帰宅カードに従って対応します。
 - ・帰宅できる生徒は、安全に配慮し帰宅します。
 - ・保護者が迎えに来る生徒は、待機します。
 - ・学校内の周辺にいる場合は、学校に戻り待機します。
 - ・登下校中の場合は、学校へ戻るか最寄りの避難所へ避難して下さい。
- 学校内から帰宅する場合は、教職員に帰宅することを伝え帰宅して下さい。

⑨ 学校に安否報告・連絡

- 大地震が発生した場合、学校から安否確認メール(緊急メール)を送ります。内容に従い必ず返信してください。安否確認メールを受け取れない場合は、学校へ必ず連絡をしてください。
- メールを受け取るには、メールアドレスの登録が必要です。(4月に教室に掲示されている。)

安否確認メールの送信(例)

- ・送信先:
- ・表題:「古川工業高校安否報告」
- ・記載事項
 - 1・クラス(学年、学科、組)
 - 2・氏名
 - 3・本人の被災状況
 - ①無事 ②軽傷 ③重傷(自主避難可能)
 - ④重傷(要救助:現在地を報告する)
 - 4・所在情報
 - ①自宅
 - ②その他(避難所等、現在地を報告)
 - 5・その他

※登下校中、災害に遭った場合を想定し家族と相談を行って下さい。

通学路の中間点

通学路上で待ち合わせ場所を設定すると

場所

場所①

周辺の避難場所

場所②